

令和 7 年度

JA 都市農村交流全国協議会運営委員会

(資料)

第 1 号議案 令和 6 年度 JA 都市農村交流全国協議会活動報告

及び収支決算書について

- 1－1 令和 6 年度 JA 都市農村交流全国協議会 活動経過報告
- 1－2 令和 6 年度 JA 都市農村交流全国協議会 収支決算書及び監査報告書
- 1－3 参考資料 JA 都市農村交流全国協議会 運営委員・監事名簿

(令和 7 年 3 月 31 日現在)

第 2 号議案 令和 7 年度 JA 都市農村交流全国協議会活動計画

及び収支予算書について

- 2－1 令和 7 年度 JA 都市農村交流全国協議会 活動計画
- 2－2 令和 7 年度 JA 都市農村交流全国協議会 収支予算書
- 2－3 参考資料① JA 都市農村交流全国協議会 県別会員数 (令和 7 年 6 月 30 日現在)
- 2－4 参考資料② JA 都市農村交流全国協議会 加入団体名簿 (令和 7 年 6 月 30 日現在)

第 3 号議案 令和 7 年度 JA 都市農村交流全国協議会助成要領について

- 3－1 令和 7 年度 JA 都市農村交流助成要領

第 4 号議案 令和 7 年度運営委員・監事の改選及び会長・副会長の選任について

- 4－1 令和 7 年度 JA 都市農村交流全国協議会 運営委員・監事名簿

(令和 7 年 6 月 30 日現在)

- 4－2 会長・副会長の選任

JA 都市農村交流全国協議会

全国農業協同組合中央会

第 1 号議案

令和 6 年度

JA 都市農村交流全国協議会活動報告及び収支決算書について

令和6年度JA都市農村交流全国協議会

活動経過報告について

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

1. 会員加入状況等

会員加入については加入パンフレットを活用し、ホームページやJA中央会の担当部課長会議等を通じて、広く呼びかけを行うとともに、婚活支援セミナーや情報意見交換集会においても協議会概要を説明し未加入参加者に対して加入の呼びかけを行った。(令和7年3月31日現在 115 団体。令和6年度途中に JA グリーン近江(滋賀県)と JA 常陸(茨城県)が加入)

2. 会議等の開催

(1) 運営委員会

協議会の体制整備と運営を円滑に行うため、令和6年6月25日(火)に運営委員会を開催し、令和5年度協議会活動報告および令和6年度活動計画等について審議を行った。各運営委員の書面による議決権行使の結果、賛成多数で可決された。

(2) 運営検討専門部会(運営検討会議)

協議会の活動運営にあたり運営委員会へ諮ることを目的に、令和6年5月29日(水)ならびに令和7年1月28日(火)に活動計画や内容に関する協議・検討を行った。

3. セミナー・研修会の開催

(1) 情報・意見交換集会(セミナー)

会員の人材育成・ノウハウおよび都市と農村の交流に求められる情報・スキル習得の為、都市農村交流の事例の共有を目的として開催した。

- ・開催日時：令和7年2月14日(金) 9時00分～12時20分
- ・開催場所：実開催(JAビル)とWEB開催の併催
- ・参加者：18名
- ・テーマ：地域の課題解決や地方創成に取り組む行政や企業、地域での交流先を求める地元の大学生・専門学校生らと連携した地域社会の活性化に繋がる都市農村交流の事例共有

【カリキュラム】

○「アグベンチャーラボ 農業ワーケーション『ののの』取り組み」
／ 株式会社 Perma Future 代表取締役 池田 航介 氏

○「JA糸島女性部 食の支援活動」／ JA糸島 営農部 岡崎 伸子 氏

○「パネルディスカッション 都市と農村の交流のこれからの在り方」
／株式会社 農協観光 菅野 恒治 氏

(2) 婚活支援セミナー

農山村における後継者対策等として行う JA の婚活事業について、様々な工夫により実践する取り組む事例を共有するとともに、知識・ノウハウの習得を目的として、セミナーを開催した。

- ・開催日時：令和 6 年 7 月 26 日（金）13 時 00 分～16 時 30 分
- ・開催場所：実開催（東京）と WEB 開催の併催
- ・参加者：35 名

【カリキュラム】

- 協議会活動報告／ JA 全中
- JA グループを取り巻く最新婚活事情／ （株）農協観光
- 青年組織を主体とした婚活支援の取り組み／ JA 全青協 酒井 雅博
- 結婚相談活動の取り組み／ JA さいたま 経営企画部組合員組織課
- 青年組織を主体とした婚活支援の取り組み
／ JA ハイナン 営農経済部組合員相談課
- 協力会社と連帯した婚活支援の取り組み／ JA 菊池 総務部企画広報課

(3) 都市農村交流活動先進地視察・研修会

交流拡大や関係人口の創出、関係の深化を通じて地域の支えとなる人材の拡大を図るため、先進的な取り組みを進めている地域の仕組みや取り組み内容を視察し、会員等の取り組みに資する目的で実施した。

開催日時：令和 6 年 9 月 11 日（水）～12 日（木）

開催場所：JA 大井川管内

参加者：9 名

【実施内容】

- プレセカンドスクールの視察
- JA 大井川の都市農村交流活動の取り組みについて講義
- グリーンツーリズム体験「農家民宿施設」への宿泊

4. 会員の活動に対する支援

会員の「交流」に関する活動が促進されるよう、協議会による支援および全国機関と連携した支援を行った。

- (1) 令和 5 年度 JA 都市農村交流助成要領に基づき都市農村交流の企画実施について助成申請のあった JA に対し助成を行った。

助成実績：22 団体 545,760 円

- (2) 第 4 回優良活動事例表彰にあたり、審査委員会にて受賞取り組みを審査・選定し、受賞団体への表彰状と副賞を受賞 JA へ 6 月に授与した。

対象期間：令和 3 年 11 月 1 日～令和 5 年 12 月 31 日

募集期間：令和 6 年 1 月 1 日～令和 6 年 2 月 29 日

審査期間：令和 6 年 3 月～4 月

表 彰：令和6年6月

審査結果：最優秀賞	JA 糸島女性部	「食」の支援活動
優秀賞	JA さいかつ	広報誌読者モニターアンケート
優秀賞	JA はだの	青パパイヤ大作戦

5. 情報の提供

(1) 発行物（郵送・メール）

- ① 令和5年度の活動内容をまとめた会報誌「クロス・カントリー」第16号

発行日：令和6年9月

内容：令和5年度 婚活支援セミナー（2023年11月開催）

令和5年度 情報・意見交換集会（2024年2月開催）

第4回優良活動事例表彰（2024年6月実施）

事例集「食農教育によるJAグループの都市農村交流」

※協議会ホームページにもデータ掲載

- ② 日本農業新聞記事データベースを活用し、「食と農」を基軸とした多様な交流に関する地方の情報を集約し、7月（4～6月分）、10月（7～9月分）、1月（10～12月分）、4月予定（1～3月分）に会員宛に郵送。

(2) ホームページの運営・活用

- ① 会員にタイムリーな情報を提供するため、情報収集と発信機能の向上を図り、協議会の活動、会員の活動、JAグループの取り組み、外部団体の取り組み等に関する情報を積極的に発信する。また、コロナ禍以降各種研修会やセミナー等がWEB開催に移行していることから、主催および推奨の研修会等で可能なコンテンツについてはHP上に掲載し、会員向けに提供・共有する。

- ② 事例集の活用および普及推進

協議会主催のセミナー・研修会等の案内や協議会が作成した会報誌や事例集を紹介、更新した。

以 上

令和6年度 JA都市農村交流全国協議会 収支決算書

自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日

1. 収入の部

(単位:円)

	令和6年度予算額	令和6年度決算額	差 額	摘 要
会費(JA・都道府県組織)	1,920,000	1,920,000	0	20,000円×96会員
会 費 (全 国 団 体)	600,000	600,000	0	50,000円×12会員
雑 収 入	0	43,019	43,019	非会員研修参加収入、 預金利息
前 年 度 繰 越	1,764,636	1,764,636	0	
合 計	4,284,636	4,327,655	43,019	

2. 支出の部

(単位:円)

	令和6年度予算額	令和6年度決算額	差 額	摘 要
会 議 費	1,000,000	809,033	190,967	各種会議、専門部会、研 修会・セミナー等
旅 費 交 通 費	600,000	423,866	176,134	出張・視察旅費、講師旅 費等
印 刷 費	500,000	437,910	62,090	事例集作成費、資料印刷 費等
会 員 助 成	1,300,000	545,760	754,240	交流体験費助成、研修参加費 助成、旅費助成等
会 場 借 料	50,000	0	50,000	研修会・セミナー開催会場 等
そ の 他	814,636	33,880	780,756	ホームページ管理費等、資 材、書籍等
合 計	4,264,636	2,250,449	2,014,187	

令和6年度 差引残高(次年度繰越)

収 入	支 出	差引残高
¥4,327,655	¥2,250,449	¥2,077,206

JA 都市農村交流全国協議会 令和 6 年度 監事監査報告書

JA 都市農村交流全国協議会 御中

JA 都市農村交流全国協議会

監 事 栗原 隆政 ㊞

1. 監査の要領

- | | |
|-----------|-----------------------------|
| (1) 監査の対象 | JA 都市農村交流全国協議会 |
| (2) 監査基準日 | 令和 7 年 3 月 3 1 日 |
| (3) 監査期日 | 令和 7 年 5 月 1 2 日 |
| (4) 監査の範囲 | 令和 6 年度の活動内容
および収支決算について |

2. 監査の意見

会計処理、別紙明細の整理は適正に処理されており、収支決算書は適正であることを認めます

以 上

JA 都市農村交流全国協議会 令和 6 年度 監事監査報告書

JA 都市農村交流全国協議会 御中

JA 都市農村交流全国協議会

監 事

港 義弘



1. 監査の要領

- | | |
|-----------|-----------------------------|
| (1) 監査の対象 | JA 都市農村交流全国協議会 |
| (2) 監査基準日 | 令和 7 年 3 月 3 1 日 |
| (3) 監査期日 | 令和 7 年 5 月 9 日 |
| (4) 監査の範囲 | 令和 6 年度の活動内容
および収支決算について |

2. 監査の意見

会計処理、別紙明細の整理は適正に処理されており、収支決算書は適正であることを認めます

以 上

JA 都市農村交流全国協議会 運営委員・監事名簿

(令和7年3月31日現在)

I. 運営委員

1. 農業協同組合

ながぬま農業協同組合	代表理事組合長	柴田 佳夫	
花巻農業協同組合	代表理事組合長	高橋 利光	(副会長)
大北農業協同組合	代表理事組合長	武井 宏文	
能登わかば農業協同組合	代表理事組合長	寺西 清悟	
飛騨農業協同組合	代表理事組合長	志田 浩一	
紀の里農業協同組合	代表理事組合長	岩上 昌義	(副会長)
広島市農業協同組合	代表理事組合長	吉川 清二	
菊池地域農業協同組合	代表理事組合長	東 哲哉	

2. 都道府県農業協同組合中央会

千葉県農業協同組合中央会	代表理事会長	松元 善一	(会 長)
埼玉県農業協同組合中央会	代表理事会長	坂本 富雄	
東京都農業協同組合中央会	代表理事会長	野崎 啓太郎	
神奈川県農業協同組合中央会	代表理事会長	平本 光男	
京都府農業協同組合中央会	会長理事	中川 泰宏	
大阪府農業協同組合中央会	代表理事会長	寺下 三郎	

3. JAグループ全国機関

全国農業協同組合連合会	経営管理委員会会長	折原 敬一	
全国共済農業協同組合連合会	経営管理委員会会長	青江 伯夫	
農林中央金庫	代表理事理事長	奥 和登	
全国厚生農業協同組合連合会	代表理事会長	長谷川 浩敏	
株式会社農協観光	代表取締役会長	篠原 末治	
一般社団法人全国農協観光協会	代表理事会長	篠原 末治	
全国農業協同組合中央会	代表理事会長	山野 徹	
JA全国女性組織協議会	会長	久保 町子	
全国農協青年組織協議会	理事	下中 豊久	

II. 監事

一般社団法人家の光協会	代表理事会長	栗原 隆政	
株式会社日本農業新聞	代表取締役会長	港 義弘	

任期：令和4年度～令和6年度

ただし、任期終了は令和7年度の運営委員会の開催日までとする。

第 2 号議案

令和 7 年度

JA 都市農村交流全国協議会活動計画及び収支予算書について

令和7年度 JA 都市農村交流全国協議会

活動計画

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）が施行され、地方創生の取り組みが本格的に始まってから10年の節目を迎える。

地域によっては人口が増加しているところもあり、この中には地方創生の取組成果と言えるものが一定数あると推測される。しかしながら、国全体で見たときに人口減少や東京圏への一極集中などの大きな流れを変えるには至っておらず、地方は依然として厳しい状況にある。

現在、子どもの3人に1人が東京圏で生まれており、自然や農林水産業など、地方の実情に触れ合う機会を持たない子どもが増加している。一方、若者を中心に地方移住への関心が高まり、豊かな自然の中でゆとりある生活を求める「田園回帰」の流れに加えて、SNSなどデジタルを使ったコミュニケーション手段が広く普及する中、人々が、出身地や居住地を超えて、あらゆる地域と気軽につながりを持ち、必ずしも定住を伴わない形も含め、地域の発展に積極的に貢献できる可能性が広がっている。

JAグループでは、令和6年10月に開催した「第30回JA全国大会」において、「農業振興の応援団」の拡大に向けて、「都市農村交流」や「食農教育」などを接点に、准組合員の加入促進や地域住民との関係づくりに取り組むこと、また協同活動における最も重要な取り組みとして「全世代型食農教育」に取り組むとともに幅広い世代の関心が高い「健康増進活動」と地域でお互いに支え合う「助けあい活動」に取り組み、協同組合としての強みを発揮していくことを決議した。

令和7年度はJAの管内・管外問わず、JA都市農村交流を通じて幅広い世代の人々と接点を創出し、組合員との関係強化やJA仲間づくりにつなげることを重点とし、地域の「食」と「農」を基軸とした体験を複合的に取り入れた、JAならではの取り組みを進めていく必要がある。

1. 都市農村交流とJA仲間づくりに向けた取り組み

(1) WEB・動画など活用したセミナー・研修会等の開催

都市農村交流を通じて、幅広い世代の人々と接点を創出し、組合員との関係強化やJA仲間づくりにつなげることを念頭に、WEB形態・動画配信などを活用し、研修会・セミナーを開催する。また研修内容の充実のため、研修会運営の一部委託をはじめ、全国機関・関連組織と更なる連携をはかる。

① WEB・動画セミナー

新たな取り組みとして、これまでに開催した各種セミナーで録画した講演映像を会員や会員外 JA に対しオンデマンド配信をすることで、新たに加入した JA・中央会や、人事異動等で着任した新担当者に対しても都市農村交流の事例やスキルを提供できるよう検討する。

② 情報・意見交換集会（セミナー）

会員の人材育成や、都市農村交流に求められるノウハウ・スキルの習得を目的として開催する。

- ・内 容：関係人口の拡大へ向け、様々な交流活動や、食と農による「地域の活性化」、「役職員・組合員との関係強化や組合員数の維持・拡大につながる JA の仲間づくり」に貢献する取組事例等の共有を図る。
- ・開催時期：令和 8 年 2 月 13 日（金）（予定）
- ・開催場所：実開催（東京）と WEB の併催

③ 関係人口創出に向けたアイデアセミナー

関係人口の創出に向けて、SNS を活用した人材の掘り出しや JA 内外の関係者と連携した情報発信等、戦略的に取り組むアイデアを習得することを目的として開催する。

- ・開催時期：令和 7 年 11 月～12 月にて予定
- ・内 容：関係団体・企業等の先進的な取り組みやノウハウの共有
- ・開催場所：実開催（東京）と WEB の併催

（２）JA グループ内外との連携の促進

① まちむら交流機構との連携

都市住民と JA との接点創出に向け、一般財団法人都市農山漁村交流活性化機構（まちむら交流機構）が運営する都市農村交流情報サイト「里の物語」や、Instagram「地産地消イレブン」の活用など、JA の事業・活動の情報発信に役立つ取り組みを紹介する。同機構が行う交流活動に関するセミナー講師や実践インストラクター等の派遣の斡旋についても、連携を検討する。

② 農協観光・全国農協観光協会など JA グループ関連団体との連携促進

都市農村交流をはじめとした JA 仲間づくりの取り組みについては、JA グループ関連団体が多様な都市農村交流企画を全国で展開している。

例えば、全国農協観光協会では、農業・田舎暮らし等の体験交流や、援農など農業現場の支援等に資する事業に加え、農林水産省等の補助金事業も活用し、都市農村交流や地域振興の取り組みを全国で展開している。

また、農協観光では、都市住民等による援農支援や人材バンクの運営、雇用・就農に関する研修・相談会等、農業現場と都市・企業を繋ぐ仕組みを提供している。

これらの都市農村交流企画や支援事業の最新情報を共有するとともに、申し出があれば、各事業連と連携し、企画の実施や支援要請を行う。

(3) JA 仲間づくりや事業利用につながる事例の研究・発信

都市農村交流の取り組みを、どのように JA の仲間づくりや事業利用へつなげて行くか、「事例研究専門部会」を立ち上げて事例研究を行い、JA が都市農村交流の取り組みを実施する際に活用できるメニュー等の成果物を令和 8 年度も継続して実施することを視野に取り組む。

【事例研究専門部会のイメージ】

- ・ 令和 7 年度 2 回程度開催（令和 8 年度も継続する想定）
- ・ 内容
 - － 現状・課題整理
 - － 事例調査（2～3 事例を想定）
 - － 調査・研究結果の共有、普及方法の検討
 - － 取りまとめ、メニュー作成等
- ・ 委員（3～5 名程度を予定）
 - JA・中央会（ヒアリング先関係者）、JA 全国機関、有識者等
- ・ 事務局
 - JA 全中

(4) 会員の活動に対する支援等

会員の都市農村交流に関する活動の促進に向け、協議会独自の支援や全国機関と連携した支援を行う。

① JA・県域主催の研修会への支援

JA・県域が開催する研修会等に関して、資料提供や講師派遣などの支援を行う。会員の要望に応じて、全国機関と連携の上、対応する。

② 会員が実施する企画や研修会参加への助成

都市農村交流の活発化と質的向上を期して、都市農村交流に関する JA の企画実施や、勉強会開催、協議会・JA グループ主催のセミナー・研修会への参加等について、費用助成を行う。

※ 詳細は、「令和 7 年度 JA 都市農村交流助成要領」参照。

③ 会員へのアンケート調査

今後の調査・研究活動や研修会のテーマに関する要望把握等を目的としてアンケート調査を実施し、令和 8 年度以降の活動への反映を検討する。

時期：令和 7 年下半年（予定）

方法：WEB

2. 協議会の運営

(1) 会員加入

都市農村交流活動を、組合員との関係強化・仲間づくりや地域活性化につながる取り組みとして位置づけて、会員加入の推進を継続する。令和6年度に刷新した入会案内パンフレットを活用し、協議会が開催する研修会等で未加入JA・中央会等に対し、更なる加入推進を行う。(令和7年6月1日現在113団体予定)

(2) 基幹会議の開催

① 運営委員会

協議会の運営を円滑に行うため、運営委員会を開催し、令和6年度協議会活動報告および令和7年度活動計画等を決定する。

- ・開催時期 令和7年7月23日(水)(予定)
- ・開催方法 書面開催

② 運営検討専門部会(運営検討会議)

運営委員会へ諮る前に、実務者間で協議会の活動について協議・検討を行う。

- ・開催時期【1回目】令和7年6月9日(月)、【2回目】令和8年1月(予定)
- ・開催場所 実開催(東京)とWEBの併催

(3) 会員への情報提供

① 発行物(郵送・メール)

令和6年度に開催した都市農村交流のセミナー・研修会などの概要や、令和7年度の会員助成、第5回JA都市農村優良活動事例表彰の案内などを掲載した会報誌「クロス・カントリー」を作成し、提供する。

また、日本農業新聞記事データベースを活用し、「食」と「農」を基軸とした多様な交流に関する地方の情報を集約し、提供する。

② ウェブサイトの運営・活用

協議会ウェブサイトを活用し、協議会やJAグループの主催セミナー・研修会の案内、研修資料や事例集等の提供、会員助成要領の案内など、協議会の活動を適時に発信する。

また、補助事業等の農林水産省等の取り組みや関係団体の取り組みを適宜発信する。

以上

令和7年度 JA都市農村交流全国協議会 収支予算書

自 令和7年4月1日
至 令和8年3月31日

1. 収入の部

(単位:円)

	令和7年度予算額 (予定)	令和6年度予算額	差 額	摘 要
会費(JA・都道府県組織)	1,920,000	1,900,000	20,000	20,000円×96会員
会 費 (全 国 団 体 等)	600,000	600,000	0	50,000円×12会員
雑 収 入	0	0	0	預金利息等
前 年 度 繰 越	2,077,206	1,764,636	312,570	
合 計	4,597,206	4,264,636	332,570	

2. 支出の部

(単位:円)

	令和7年度予算額 (予定)	令和6年度予算額	差 額	摘 要
会 議 費	1,400,000	1,000,000	400,000	各種会議(調査委託費含む)、研修会・セミナー等
旅 費 交 通 費	1,000,000	600,000	400,000	出張・視察旅費、講師旅費等 (企画専門部会含む)
印 刷 費	450,000	500,000	▲ 50,000	資料印刷費等(企画専門部 会成果物含む)
会 員 助 成	1,000,000	1,300,000	▲ 300,000	交流体験費助成、研修会参 加旅費助成等
会 場 借 料	200,000	50,000	150,000	研修会・セミナー開催会 場等
そ の 他	547,206	814,636	▲ 267,430	ホームページ管理費等、資 材、書籍等、予備費
合 計	4,597,206	4,264,636	332,570	

JA都市農村交流全国協議会 県別会員数 (令和7年6月30日)

(単位:団体数)

地区	県名	JA	中央会	県連	全国機関	学校教育機関	総計
北海道	北海道	2	1				3
東北	青森		1				1
	岩手	4	1				5
	宮城	1	1				2
	秋田		1				1
	山形		1				1
	福島	2	1				3
東北 集計		7	6	0	0		13
関東甲信越	茨城	1					1
	栃木	2	1				3
	群馬	1	1				2
	埼玉	1	1				2
	千葉	14	1				15
	東京		1				1
	神奈川	2	1				3
	山梨	1	1				2
	長野	2	1				3
	新潟	4	1				5
関東甲信越 集計		28	9	0	0		37
北陸	富山	1	1				2
	石川	2	1				3
	福井						0
北陸 集計		3	2	0	0		5
東海	岐阜	2	1				3
	静岡	1	1				2
	愛知	1	1				2
	三重	1	1				2
東海 集計		5	4	0	0		9
近畿	滋賀	2	1				3
	京都	5	1				6
	大阪		1				1
	兵庫	1	1				2
	奈良	1					1
	和歌山	1					1
近畿 集計		10	4	0	0		14
中四国	鳥取		1				1
	島根						0
	岡山		1				1
	広島	1	1				2
	山口		1				1
	徳島		1				1
	香川	1					1
	愛媛		1				1
	高知						0
中四国 集計		2	6	0	0		8
九州	福岡	1	1				2
	佐賀	1					1
	長崎						0
	熊本	2	1				3
	大分						0
	宮崎	1					1
	鹿児島						0
	沖縄						0
九州 集計		5	2	0	0		7
学校教育・JA全国 機関					14	3	17
総計		62	34	0	14	3	113

JA都市農村交流全国協議会 加入団体名簿

(令和7年6月30日)

県名	J A	中央会
北海道	ながめま農業協同組合、道東あさひ農業協同組合	北海道農業協同組合中央会
青森		青森県農業協同組合中央会
岩手	新岩手農業協同組合、花巻農業協同組合、岩手中央農業協同組合、いわて平泉農業協同組合	岩手県農業協同組合中央会
宮城	仙台農業協同組合	宮城県農業協同組合中央会
秋田		秋田県農業協同組合中央会
山形		山形県農業協同組合中央会
福島	福島さくら農業協同組合、ふくしま未来農業協同組合	福島県農業協同組合中央会
茨城	常陸農業協同組合	
栃木	上都賀農業協同組合、佐野農業協同組合	栃木県農業協同組合中央会
群馬	邑楽館林農業協同組合	群馬県農業協同組合中央会
埼玉	さいかつ農業協同組合	埼玉県農業協同組合中央会
千葉	ちばみどり農業協同組合、千葉みらい農業協同組合 成田市農業協同組合、市原市農業協同組合、長生農業協同組合、 富里市農業協同組合、西印旛農業協同組合、山武郡市農業協同組合、 安房農業協同組合、かとり農業協同組合、とうかつ中央農業協同組合、 君津市農業協同組合、市川市農業協同組合、ちば東葛農業協同組合	千葉県農業協同組合中央会
東京		東京都農業協同組合中央会
神奈川	セレサ川崎農業協同組合、秦野市農業協同組合	神奈川県農業協同組合中央会
山梨	フルーツ山梨農業協同組合	山梨県農業協同組合中央会
長野	上伊那農業協同組合、大北農業協同組合	長野県農業協同組合中央会
新潟	新潟かがやき農業協同組合、みなみ魚沼農業協同組合、佐渡農業協同組合、 北新潟農業協同組合	新潟県農業協同組合中央会
富山	みな穂農業協同組合	富山県農業協同組合中央会
石川	はくい農業協同組合、能登わかば農業協同組合	石川県農業協同組合中央会
福井		
岐阜	ぎふ農業協同組合、飛騨農業協同組合	岐阜県農業協同組合中央会
静岡	大井川農業協同組合	静岡県農業協同組合中央会
愛知	あいち海部農業協同組合	愛知県農業協同組合中央会
三重	伊賀ふるさと農業協同組合	三重県農業協同組合中央会
滋賀	レーク滋賀農業協同組合、グリーン近江農業協同組合	滋賀県農業協同組合中央会
京都	京都丹の国農業協同組合、京都中央農業協同組合、京都やましろ農業協同組合 京都農業協同組合、京都市農業協同組合	京都府農業協同組合中央会
大阪		大阪府農業協同組合中央会
兵庫	たじま農業協同組合	兵庫県農業協同組合中央会
奈良	奈良県農業協同組合	
和歌山	和歌山県農業協同組合	
鳥取		鳥取県農業協同組合中央会
島根		
岡山		岡山県農業協同組合中央会
広島	広島市農業協同組合	広島県農業協同組合中央会
山口		山口県農業協同組合中央会
徳島		徳島県農業協同組合中央会
香川	香川県農業協同組合	
愛媛		愛媛県農業協同組合中央会
高知		
福岡	糸島農業協同組合女性部	福岡県農業協同組合中央会
佐賀	佐賀県農業協同組合	
長崎		
熊本	菊池地域農業協同組合、熊本宇城農業協同組合	熊本県農業協同組合中央会
大分		
宮崎	宮崎県農業協同組合	
鹿児島		
沖縄		
学校教育機関	東京農業大学、埼玉県農業大学校、宮城県農業大学校	
全国機関	全国農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会、全国共済農業協同組合連合会、農林中央金庫、 全国厚生農業協同組合連合会、一般社団法人家の光協会、株式会社日本農業新聞、株式会社農協観光 一般社団法人全国農協観光協会、JA全国女性組織協議会、全国農協青年組織協議会、共栄火災海上保険株式会社 株式会社全農ビジネスサポート、株式会社農林中金総合研究所	

第3号議案

令和7年度JA都市農村交流助成要領について

令和7年度 JA 都市農村交流助成要領

JA 都市農村交流全国協議会

1. 目的

都市農村交流等の取り組み活発化および質的向上を期して、会員活動に関する費用の一部助成を行う。

2. 助成対象事業等

(1) 対象事業

これまでは①～③の対象事業について1会員につき合計5万円(税込)の助成額を上限としていたが、令和7年度より対象事業は次の①～③のとおりとし、1会員あたり合計3万円(税込)を上限に助成を行う。

	① 都市農村交流企画 (様式1～3)	② 勉強会 (様式4)	③ 研修会・セミナー (様式5)
内容	都市農村交流等(管内児童・生徒等向け食農教育等含む)の体験企画(収穫体験や農業体験・オンライン交流企画等)の取り組みに関する経費(農業体験料、貸切バス代金、募集費等)の一部助成	JA職員または組合員等を対象とした都市農村交流等の取り組みに関する人材育成のための勉強会(オンラインによる開催含む)の経費(講師謝金・旅費等)の一部助成	本協議会主催研修会・セミナーおよび、本協議会が指定したJAグループ等主催の研修会・セミナー(※3)への参加費・旅費の一部助成
対象	JA会員のみ(※1)	JA会員・JA中央会会員(※2)	JA会員・JA中央会会員(※2)
	青年組織・女性組織と連携した企画も含む		—
対象期	令和7年4月～令和8年2月までに実施した事業		
助成額	3万円(税込)を上限とし、申請金額が3万円を下回る場合は申請金額とする。	3万円(税込)を上限とし、申請金額が3万円を下回る場合は申請金額とする。	参加者一人当たり上限5千円(税込)を助成する。 但し、1研修会・セミナーにつき1会員1名までとする。
助成回	1会員①から③のいずれかに対する助成とし、上限額まで複数回申請できる。 但し③については年間2回を上限とする		

※1: JA中央会会員・全国機関・賛助会員・学校教育機関会員は含まない。

※2: 全国機関・賛助会員・学校教育機関会員は含まない。

※3: 令和7年度研修会の内容確定後に決定し、各会員に通知する。

3. 申請手続き

(1) 助成申請期間

令和7年6月～令和8年2月末日。

(2) 助成申請書の提出

「JA都市農村交流助成 申請書」(様式1～5)に必要書類を添付の上、郵送、またはEメールにて協議会事務局へ送付する。

(3) 助成決定通知

事務局は申請内容を確認し、順次、「助成決定通知書」(様式6)にて連絡する。

4. 助成金の支出

- (1) 都市農村交流企画の経費【2(1)①】、勉強会の講師謝金・旅費等【2(1)②】については、助成申請書に基づき請求書（写し）若しくは支出伝票等の証憑書類を確認のうえ、原則として申請の翌月末までに申請会員の指定口座に振込送金する。
- (2) 研修会・セミナーへの参加費・旅費【2(1)③】については、助成申請書に基づき参加者を確認のうえ、原則として申請の翌月末までに申請会員の指定口座に振込送金する。

5. その他

(1) 事故等の発生の免責

都市農村交流企画実施の際、事故等が発生した場合、当協議会はその責を負わないものとする。会員の判断により旅行傷害保険加入等の対策を講じることとする。

(2) 助成金の取り消し・返還

申請書の記載の通りに実施されていないことが判明した場合は、助成金の支払いを取り消す（支払い済みの場合は返還を求める）場合がある。

(3) 要領の見直し

助成対象や金額等、この要領は毎年度見直し検討を行う。

以 上

様式 1 (都市農村交流企画用)

【1つの交流体験で申請する場合】

JA 都市農村交流助成 申請書

(企画参加費等助成用)

提出日：令和 年 月 日
 会員名 _____
 申請者名 _____ 印
 所属部署 _____
 連絡先 () _____

実施日	令和 年 月 日 ()	
交流体験名		
内 容		
参加人員	名	
申請金額	・実際にかかった費用① _____ 円 ・① _____ 円と助成上限額 30,000 円のいずれか小さい額 ・助成申請額： 円	
添付書類	☐ 領収書又は請求書(写) ☐ ※開催要領(案内チラシ等)	
振込先 ※会員へ直接振込む場合	金融機関名：	店舗名：
	預金種目	1. 普通 2. 当座 3. その他 ()
	口座番号	
	口座名	(フリガナ)
備 考		

事務局記載 受領日：令和 年 月 日

※ 申請する際には、この申請書と申請金額の領収書又は請求書・開催要領(案内チラシ等)を必ず添えて提出ください。

※ 裏面の記入例を参考にしてください。

様式 1（都市農村交流企画用）

【記入例】【1つの交流体験で申請する場合】

JA 都市農村交流助成 申請書

（企画参加費等助成用）

提出日：令和 ○年 △月 ×日
会員名 ○○農業協同組合
申請者名 _____ 印
所属部署 ○○部△△△
連絡先 ()

実施日	令和7年10月3日（金）								
交流体験名	JA□□□□女性部								
内 容	JA□□□□女性部でパールネックレスづくりを実施								
参加人員	15 名								
申請金額	・ 実際にかかった費用①26,875 円 ・ ①26,875 円と助成上限額 30,000 円のいずれか小さい額 ・ 助成申請額：26,875 円								
添付書類	領収書又は請求書（写）の添付がない場合は助成申請ができません。 ☐ 領収書又は請求書（写） ☐ ※開催要領（案内チラシ等）								
振込先 ※会員へ直接振込む場合	金融機関名： ○○県信用農業協同組合連合会		店舗名：本店						
	預金種目	1. 普通 2. 当座 3. その他（ ）							
	口座番号	<table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							
口座名	(フリガナ) ○○ノウギョウキョウドウクミアイ ○○農業協同組合								
備 考									

事務局記載 受領日：令和 年 月 日

様式 2 (都市農村交流企画用)

【1つの交流体験で申請する場合】

JA 都市農村交流助成 申請書

(物 品 購 入 等 助 成 用)

提出日：令和 年 月 日
 会 員 名 _____
 申請者名 _____ 印
 所属部署 _____
 連絡先 () _____

実施日	令和 年 月 日 ()	
交流体験名		
内 容		
合計申請金額	合計： 円 (助成上限額：30,000 円)	
申請金額 (明細①)	円 (購入物：)	
申請金額 (明細②)	円 (購入物：)	
申請金額 (明細③)	円 (購入物：)	
添付書類	☐ 領収書又は請求書 (写) ☐ 開催要領 (案内チラシ等)	
振込先 ※会員へ直接振込む場合	金融機関名：	店舗名：本店
	預金種目	1. 普通 2. 当座 3. その他 ()
	口座番号	
	口座名	(フリガナ)
備 考		

事務局記載 受領日：令和 年 月 日

※ 申請する際には、この申請書と申請金額の領収書又は請求書・開催要領 (案内チラシ等) を必ず添えて提出ください。

※ 裏面の記入例を参考にしてください。

様式 2（都市農村交流企画用）

【記入例】【1つの交流体験で申請する場合】

JA 都市農村交流助成 申請書

（物品購入等助成用）

提出日：令和 ○年 △月 ×日
会 員 名 ○○農業協同組合
申請者名 _____ 印
所属部署 ○○部△△課
連絡先 () _____

実施日	令和 7 年 7 月 27 日（日）								
交流体験名	スイートコーン収穫体験								
内 容	JA○○管内に住む小学生を対象にしたスイートコーンの収穫体験をする体験を実施しました。その収穫体験でかかったスイートコーン代・軍手代等を申請致します。								
合計申請金額	申請金額は経費の合算でも構いません。合計申請金額は 30,000 円を超える場合は、30,000 円の助成になります。 合計：22,000 円（助成上限額：30,000 円）								
申請金額（明細①）	12,000 円（購入物：スイートコーン代【参加人数分】）								
申請金額（明細②）	6,000 円（購入物：軍手代【参加人数分】）								
申請金額（明細③）	4,000 円（購入物：ペットボトルお茶【参加人数分】）								
添付書類	領収書又は請求書（写）の添付がない場合は助成申請ができません。 ☐領収書又は請求書（写） ☐開催要領（案内チラシ等）								
振込先 ※会員へ直接振込む場合	金融機関名： ○○県信用農業協同組合連合会		店舗名：本店						
	預金種目	1. 普通 2. 当座 3. その他（ ）							
	口座番号	<table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							
口座名	(フリガナ) ○○ノウギョウキョウドウクミアイ ○○農業協同組合								
備 考									

事務局記載 受領日：令和 年 月 日

様式 3 (都市農村交流企画用)

【複数交流体験の合計額で申請する場合】

(注意) 複数の交流体験の申請をご希望の場合は一度に申請をお願い致します。(複数回での申請は不可)

JA 都市農村交流助成 申請書

提出日: 令和 年 月 日
 会員名 _____
 申請者名 _____ 印
 所属部署 _____
 連絡先 () _____

実施日	令和 年 月 日 ()	令和 年 月 日 ()	令和 年 月 日 ()
交流体験名			
内 容			
合計申請金額	円 (①)	円 (②)	円 (③)
申請金額 (明細①)	円 (:)	円 (:)	円 (:)
申請金額 (明細②)	円 (:)	円 (:)	円 (:)
申請金額 (明細③)	円 (:)	円 (:)	円 (:)
添付書類	☐ 領収書又は請求書 (写) ☐ 開催要領 (案内チラシ等)	☐ 領収書又は請求書 (写) ☐ 開催要領 (案内チラシ等)	☐ 領収書又は請求書 (写) ☐ 開催要領 (案内チラシ等)
申請額	・上記の合計申請金額の (①+②+③) の合計額④ _____ 円 ・④ _____ 円と助成上限額 30,000 円のいずれか小さい額 ・助成申請額: 円		
振込先 ※会員へ直接振込む 場合	金融機関名:		店舗名:
	預金種目	1. 普通 2. 当座 3. その他 ()	
	口座番号		
	口座名	(フリガナ)	
備 考			

事務局記載 受領日: 令和 年 月 日

※ 申請する際には、この申請書と申請金額の領収書又は請求書・開催要領 (案内チラシ等) を必ず添えて提出ください。

※ 裏面の記入例を参考にしてください。

様式 3 (都市農村交流企画用)

【記入例】【複数交流体験の合計額で申請する場合】

(注意) 複数の交流体験の申請をご希望の場合は一度に申請をお願い致します。(複数回での申請は不可)

JA 都市農村交流助成 申請書

提出日：令和 ○年 △月 ×日
会 員 名 ○○農業協同組合
申請者名 _____ 印
所属部署 ○○部△△課
連絡先 ()

実施日	令和 7 年 5 月 13 日 (火)	令和 7 年 9 月 20 日 (土)	令和 7 年 12 月 7 日 (日)
交流体験名	田植え体験	JA 女性部味噌づくり	白菜の収穫・出荷作業体験
内 容	JA 管内に住む地域住民を対象に 田植え体験を実施。	女性部を対象に味噌づくり教室 を実施。	白菜の収穫・テープ貼り等の出荷 作業体験を実施。白菜料理試食あり。
合計申請金額	9,000 円 (①)	5,500 円 (②)	17,200 円 (③)
申請金額 (明細①)	5,000 円 (購入物：稲代)	4,000 円 (購入物：大豆)	7,200 円 (購入物：白菜代)
申請金額 (明細②)	4,000 円 (費用：チラシ郵送代)	1,000 円 (購入物：麴)	6,000 円 (購入物：軍手代)
申請金額 (明細③)		500 円 (購入物：食塩)	4,000 円 (費用：チラシ郵送代)
添付書類	☐ 領収書又は請求書 (写) ☐ 開催要領 (案内チラシ等)	☐ 領収書又は請求書 (写) ☐ 開催要領 (案内チラシ等)	☐ 領収書又は請求書 (写) ☐ 開催要領 (案内チラシ等)
申請額	・ 上記の合計申請金額の (①+②+③) の合計額④31,700 円 ・ ④31,700 円と助成上限額 30,000 円のいずれか小さい額 ・ 助成申請額： 30,000 円		
振込先 ※会員へ直接振込む 場合	金融機関名： ○○県信用農業協同組合連合会		店舗名：本店
	預金種目	1. 普通 2. 当座 3. その他 ()	
	口座番号		
	口座名	(フリガナ) ○○ノウギョウキョウドウクミアイ ○○農業協同組合	
備 考			

事務局記載 受領日：令和 年 月 日

様式 4 (勉強会用)

JA 都市農村交流助成 申請書

提出日：令和 年 月 日
 会員名 _____
 申請者名 _____ 印
 所属部署 _____
 連絡先 () _____

実施日	令和 年 月 日 ()	
勉強会名		
内 容		
参加人員	名	
申請金額	・ 実際にかかった費用① _____ 円 ・ ① _____ 円と助成上限額 30,000 円のいずれか小さい額 ・ 助成申請額： 円	
添付書類	☐ 領収書又は請求書 (写) ☐ ※開催要領 (案内チラシ等)	
振込先 ※会員へ直接振込む場合	金融機関名：	店舗名：
	預金種目	1. 普通 2. 当座 3. その他 ()
	口座番号	
	口座名	(フリガナ)
備 考		

事務局記載 受領日：令和 年 月 日

※ 申請する際には、この申請書と申請金額の領収書又は請求書・開催要領 (案内チラシ等) を必ず添えて提出ください。

※ 裏面の記入例を参考にしてください。

様式 4（勉強会用）

【記入例】

JA 都市農村交流助成 申請書

提出日：令和 ○年 △月 ×日
会員名 ○○農業協同組合
申請者名 _____ 印
所属部署 ○○部△△△
連絡先 ()

実施日	令和 7 年 9 月 5 日（金）								
勉強会名	体験農園の受け入れをするにあたってのリスク管理について								
内 形	外部講師を招いて体験農園におけるリスク管理について勉強会を開催した。								
参加人員	30 名								
申請金額	・ 実際にかかった費用①50,000 円 ・ ①50,000 円と助成上限額 30,000 円のいずれか小さい額 ・ 助成申請額：30,000 円								
添付書類	領収書又は請求書（写）の添付がない場合は助成申請ができません。 ☐ 領収書又は請求書（写） ☐ ※開催要領（案内チラシ等）								
振込先 ※会員へ直接振込む場合	金融機関名： ○○県信用農業協同組合連合会		店舗名：本店						
	預金種目	1. 普通 2. 当座 3. その他（ ）							
	口座番号	<table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							
口座名	(フリガナ) ○○ノウギョウキョウドウクミアイ ○○農業協同組合								
備 考									

事務局記載 受領日：令和 年 月 日

様式 5 (研修会・セミナー用)

JA 都市農村交流助成 申請書

提出日：令和 年 月 日

会 員 名 _____

申請者名 _____ 印

所属部署 _____

連絡先 () _____

実施日	令和 年 月 日 ()	令和 年 月 日 ()						
研修会・セミナー名								
参加人数 (各回 1 名)	名	名						
参加者名 ※1 研修 1 会員 1 名	部署名： 役 職： 氏 名：	部署名： 役 職： 氏 名：						
交通費申請								
小計金額	円 (①)	円 (②)						
申請金額	・ 上記の小計金額の (①+②) の合計額 円 (税込)							
振込先 ※会員へ直接振込む場合	金融機関名： _____ 店舗名： _____							
	預金種目	1. 普通 2. 当座 3. その他 ()						
	口座番号	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table>						
口座名	(フリガナ)							
備 考								

事務局記載 受領日：令和 年 月 日

※ 申請する際には、この申請書と申請金額の領収書又は請求書・開催要領 (案内チラシ等) を必ず添えて提出ください。

※ 裏面の記入例を参考になしてください。

様式 5 (研修会・セミナー用)

【記入例】

JA 都市農村交流助成 申請書

提出日：令和 ○年 △月 ×日

会 員 名 ○○農業協同組合

申請者名 印

所属部署 ○○部△△課

連絡先 ()

実施日	令和 7 年 11 月 ○○ 日 ()	令和 8 年 2 月 13 日 (金)
研修会・セミナー名	関係人口創出に向けたアイデア セミナー	情報・意見交換集会 (セミナー)
参加人数 (各回 1 名)	1 名	1 名
参加者名 ※1 研修 1 会員 1 名	部署名： 役 職：専務理事 氏 名：□□ □□	部署名： 役 職：専務理事 氏 名：□□ □□
交通費申請	旅費申請の場合は、交通手段・経路・金額 (往復) を記入してください。 地下鉄：久屋大通駅～名古屋駅 (往復)：420 円 JR 東日本：名古屋駅～大手町駅 (往復)：22,200 円 地下鉄：久屋大通駅～名古屋駅 (往復)：420 円 JR 東日本：名古屋駅～大手町駅 (往復)：22,200 円	
小計金額	5,000 円 (①)	5,000 円 (②)
申請金額	研修会・セミナーへの参加費について一人あたり上限 5,000 円を助成します。なお、都市農交流企画用の助成金の支給に関わらず、年間 1 会員各セミナー・研修会 2 回の助成とします。 ・上記の小計金額の (①+②) の合計額 10,000 円 (税込)	
振込先 ※会員へ直接振込む場合	金融機関名：	
	○○県信用農業協同組合連合会	
	預金種目	1. 普通 2. 当座 3. その他 ()
	口座番号	

事務局記載 受領日：令和 年 月 日

様式 6

(会員名)

殿

助 成 決 定 通 知 書

より、令和 年 月 日に申請のあった

(都市農村交流企画又は勉強会、研修・セミナー名称) について、
××，×××円を助成することといたしましたので通知します。

令和 年 月 日
JA 都市農村交流全国協議会

第4号議案

令和7年度運営委員・監事の改選及び会長・副会長の選任について

令和7年度 J A都市農村交流全国協議会 運営委員・監事名簿

(令和7年6月30日現在)

I. 運営委員

1. 農業協同組合

ながめま農業協同組合	代表理事組合長	柴田 佳夫	
花巻農業協同組合	代表理事組合長	高橋 利光	(副会長)
大北農業協同組合	代表理事組合長	武井 宏文	
能登わかば農業協同組合	代表理事組合長	寺西 清悟	
飛騨農業協同組合	代表理事組合長	志田 浩一	
和歌山県農業協同組合	代表理事組合長	坂東 紀好	(副会長)
広島市農業協同組合	代表理事組合長	吉川 清二	
菊池地域農業協同組合	代表理事組合長	東 哲哉	

2. 都道府県農業協同組合中央会

千葉県農業協同組合中央会	代表理事会長	松元 善一	(会 長)
埼玉県農業協同組合中央会	代表理事会長	坂本 富雄	
東京都農業協同組合中央会	代表理事会長	野崎 啓太郎	
神奈川県農業協同組合中央会	代表理事会長	平本 光男	
京都府農業協同組合中央会	会長理事	中川 泰宏	
大阪府農業協同組合中央会	代表理事会長	寺下 三郎	

3. J Aグループ全国機関

全国農業協同組合連合会	経営管理委員会会長	折原 敬一	
全国共済農業協同組合連合会	経営管理委員会会長	青江 伯夫	
農林中央金庫	代表理事理事長	北林 太郎	
全国厚生農業協同組合連合会	代表理事会長	長谷川 浩敏	
株式会社農協観光	代表取締役会長	篠原 末治	
一般社団法人全国農協観光協会	代表理事会長	篠原 末治	
全国農業協同組合中央会	代表理事会長	山野 徹	
J A全国女性組織協議会	会長	西川 久美	
全国農協青年組織協議会	理事	坂井 利弘	

II. 監事

一般社団法人家の光協会	代表理事会長	伊藤 清孝	
株式会社日本農業新聞	代表取締役会長	港 義弘	

任期：令和7年度～令和9年度

ただし、任期終了は令和10年度の運営委員会の開催日までとする。

会長・副会長の選任

1. 役員体制

会長 松 元 善 一

(千葉県農業協同組合中央会代表理事会長)

副会長 高 橋 利 光

(花巻農業協同組合代表理事組合長)

副会長 坂 東 紀 好

(和歌山県農業協同組合代表理事組合長)

2. 任 期

令和7年度～令和9年度

ただし、任期終了は令和10年度の運営委員会の開催日までとする。